

## 「かれいざわ ARTIST in RESIDENCE」募集要項および事業概要

2011.02.22

### 1.事業目的

「あおもり NPO サポートセンター」が青森市浪岡地区にある旧王余魚沢(かれいざわ)小学校を使用した廃校活用プロジェクトをたちあげて 3 年。衰退しつつあるムラの美点を見だしながら、時代の新しい風を送り込むプロジェクトを展開しています。昨年は「かれいざわアート ICHIBA」などのイベントが好評を得、廃校に多くの観客が訪れ、賑わいを生み出し始めています。

そして今年、青森県の委託事業である「森と廃校活用によるモデルコミュニティビジネス実証事業」のひとつとして地域密着型『かれいざわARTIST in RESIDENCE』(かれいざわARTIST in RESIDENCE実行委員会主催、以下、実行委員会とする)を実施することになりました。この事業は全国から招聘した、さまざまな芸術の分野で活躍するアーティスト等に創作活動ができる場を提供し、地域住民やスタッフとともに作品展示やワークショップなどを通じて「人と人の交流」を図り、地域での創造的な暮らしのあり方について考えることを目的としています。

### 2.アーティスト募集について

アート・デザイン・建築・編集・映像・音楽・演劇・工芸・パフォーマンス・文筆・編集・キュレーターなど、様々なジャンルのアーティスト、クリエイターがここ自然豊かな王余魚沢(かれいざわ)の地で過ごし、新しい創造の形を作り上げたいと考えています。

集中して創作が行えるよう、住居・制作スペース・農産物を中心とした地域の食材を確保・提供し、9月に予定されている「かれいざわアート ICHIBA に向けた制作体制をバックアップします。

また、旧王余魚沢(かれいざわ)小学校を主な舞台に、県内のアート施設(青森県立美術館・国際芸術センター青森・十和田市現代美術館・青森MAC・吉井酒造煉瓦倉庫アートコンプレックスなど)との連携も検討中です。

かれいざわのアトリエを、青森の創作拠点にしてみませんか?新しい形のアート・食・森との関わりに関心の高いクリエイターを募集します。

### 3.かれいざわとアーティスト・イン・レジデンス

太古の時代から、青森の芸術は自然と風土に密接に結びついていました。豊かな四季の彩りが青森の芸術家達にインスピレーションを与え、様々な作品を生み出す源となりました。「かれいざわARTIST in RESIDENCE」の舞台となる旧王余魚沢(かれいざわ)小学校は、青森空港から車で 5 分という立地にあります。王余魚沢(かれいざわ)という難解な地名は、津軽平野から陸奥湾にぬける旧街道の峠、ここで一息腹ごしらえをする「枯飯饗」に由来しています。

王余魚沢(かれいざわ)地区がある青森市では「青森公立大学国際芸術センター青森」がア

ティスト・イン・レジデンス(AIR)を中心プログラムとした施設として2001年に開館し、国内外からアーティストを招聘しています。また「青森県立美術館」は、北東北の芸術・個性豊かな青森の芸術文化を世界へと発信しており、青森のアートシーンを盛り上げています。また、十和田市には「十和田市現代美術館」があり、アートを通じた新しい体験を提供する開かれた施設として、国内外で活躍する21人のアーティストによるコミッションワークの展示の他、芸術文化活動の支援や交流などを行っています。

あおもりNPOサポートセンターでは、平成20年青森市浪岡王余魚沢(かれいざわ)にある旧王余魚沢(かれいざわ)小学校を市より拝借し、廃校活用プロジェクトを立ち上げました。

地域住民と協力しながら新たな創造の可能性を生み出し続けています。王余魚沢(かれいざわ)の財産である「自然」「校舎」「人」を再び活用し、地域活性の新たなモデル事業として全国へ発信してゆきます。

#### 王余魚沢(かれいざわ)地区の様子



国際芸術センター青森から移設された高嶺格さんのツリーハウス

## 旧王余魚沢(かれいざわ)小学校



### 3.応募条件について

応募者は下記の条件を充たす方とします。

- ・様々なジャンルでのアーティスト・専門家であること。
- ・期間中、招聘された他の作家と共同生活ができること。
- ・他の作家や地域住民と良好な関係をもって交流ができること。
- ・健康が良好であること。制作、交流などのスケジュールに対応できること。

#### ■ 招聘人数

原則として4名(4組)

#### ■ 招聘期間

2011年3月25日(金)～9月30日(金)(期間は変更されることがあります)

#### ■ 招聘内容

- ・旅費: 上限50,000円を支給します。
- ・生活費および創作活動費: 期間中の滞在費・制作費として20万円を支給します。
- ・住居: 王余魚沢(かれいざわ)地区内に住宅を用意します。(住居費・高熱水道費は実行委員会が負担)原則として単身滞在とします。
- ・アトリエ: 旧王余魚沢(かれいざわ)小学校の校舎の一部または、その周辺



## 住居外観



### ■ 応募について

選考のために必要な下記のことを提出してください。(メール送付も可)

#### ①応募書類

1. 経歴書（お名前・住所などのご自身の基本情報、活動歴、PRポイントなどを簡潔に紹介する資料、形式は自由。ただし過去6ヶ月以内に撮影された写真を添付のこと。A4用紙1～2枚程度）
2. ポートフォリオ（過去の創作活動などについて明記したものを、A4サイズのファイルにまとめる）
3. 提案書（かれいざわアート in レジデンスで活動してみたいことなど）A4サイズで形式は自由

②応募期間：2011年2月21日(月)～2011年3月15日(火)必

## 着

#### ③応募書類の送付先：

〒030-0803

青森市安方2丁目5-10 やまげんビル 3F(あおもりNPOサポートセンター内)

かれいざわARTISTinRESIDENCE実行委員会

【電話】090-1068-3098

【FAX】017-752-1512

【E-mail】misawa@a-nponet.jp

### ■滞在中の活動について



①滞在期間中、実行委員会において下記のプログラムが実施される予定ですので、ご協力をお願いします。

- ・各種ワークショップの実施
- ・併設されているショップやカフェでの商品企画・開発への協力
- ・「かれいざわアート ICHIBA」(2011年9月開催予定)への参加
- ・学校訪問による小学・中学・高校生との交流
- ・地域住民他のアトリエや制作場所訪問
- ・実行委員会記録担当者の訪問
- ・マスコミの取材 など

## ②その他

- ・必要に応じて、スタッフによる制作・生活に関する手助けをいたします。
- ・滞在中の活動については、カタログを制作し掲載する予定です

### ■制作された作品の所有権および著作権について

本プログラムで、アーティストがかれいざわに寄与したものについては、実行委員会が所有権を保有します。ただし、実行委員会が記録した写真、映像等の著作権、および公益に資する広報宣伝のためにそれらを使用する権利は主催者に帰属するものとします。

また、実行委員会および主催者の了承を受けた者は、これらをすべて無償で使用できるものとします。

### ■選考と結果の通知について

①選考は選考委員会にて行います。

選考委員（予定）：

立木祥一郎（かれいざわARTIST in RESIDENCE実行委員長、アートディレクター、tecoLLC 代表）

服部浩之（青森公立大学国際芸術センター青森学芸員 Midori Art Center 主宰）

三澤 章（あおもりNPOサポートセンター）

王余魚沢地域住民の方 他

## ②選考期日

2011年3月18日(火)までに行います。

## ③選考結果の通知

3月20日(木)までに選考された本人へ、ご連絡いたします。

■お問い合わせ先:

〒030-0803

青森市安方2丁目5-10 やまげんビル 3F(あおもりNPOサポートセンター内)

かれいざわARTISTinRESIDENCE実行委員会

【電話】090-1068-3098

【FAX】017-752-1512

【E-mail】[misawa@a-nponet.jp](mailto:misawa@a-nponet.jp)